

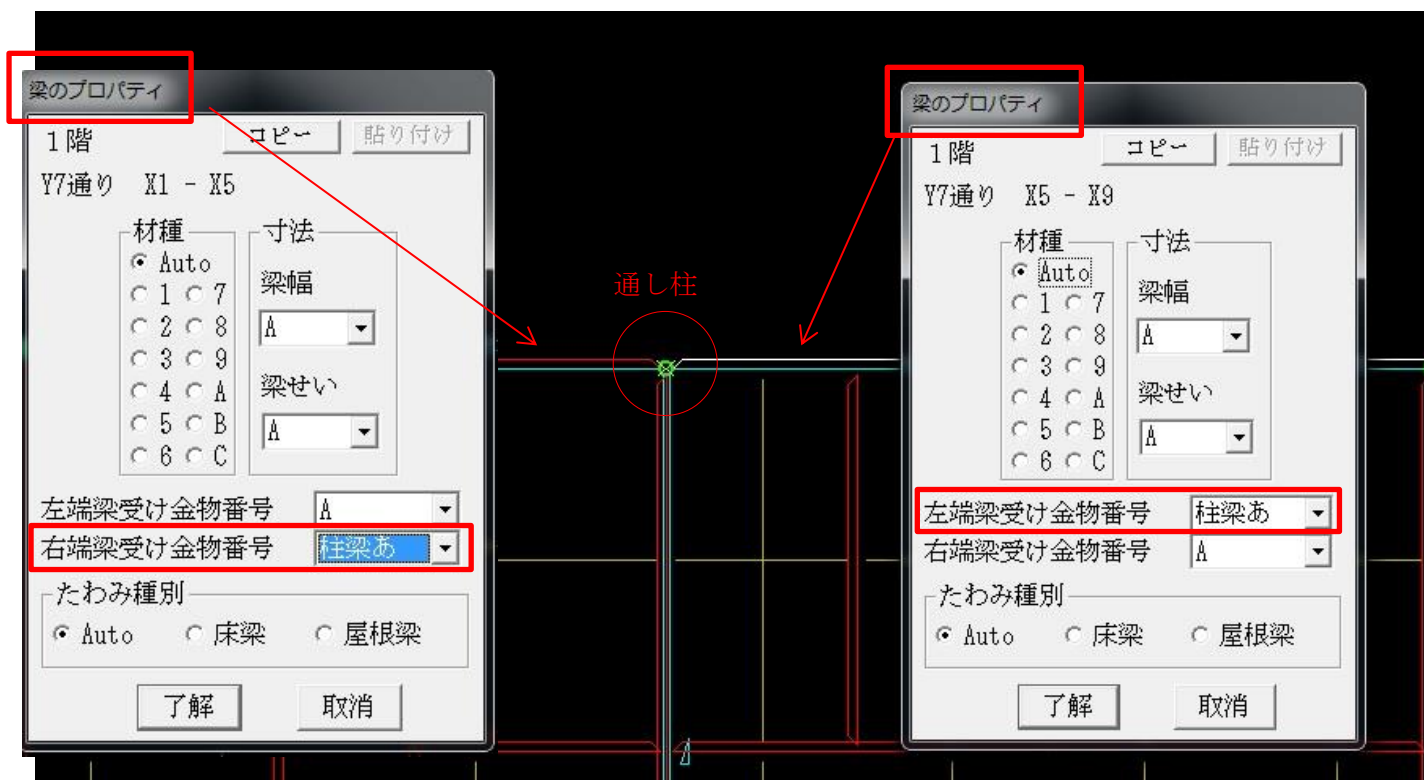
## Q. 通し柱の仕口金物の設定

### 【質疑内容】

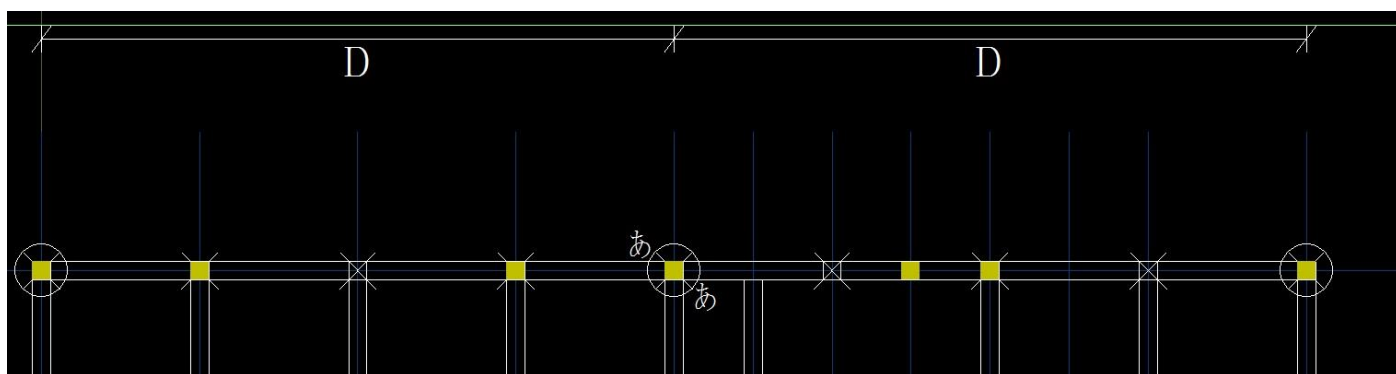
外周中間に通し柱がある部分の仕口設定は、左右を同時指定になるのですか。それとも柱通しを自動で検知し書いてくれるのか、または手書きしかないかが考えられますが、どうでしょうか。

### 【 回答 】

- 1) 柱のプロパティの（左右 上下）は、横架材の（継手金物）の位置を指定する場合の設定です
- 2) 途中に通し柱が有る場合は、両側の梁は（仕口：柱-梁）になるので、  
この仕口設定は、両側の梁の端部（左端 又は 右端）に（梁のプロパティ）で仕口金物を指定します



▲KIZUKURI 【略伏図の入力】 → 【梁のプロパティ】で、通し柱の両側の梁について、それぞれ仕口金物を設定します。



▲KIZUKURIにて計算後、KIZ-runで梁伏図を作成すると、梁伏図に仕口金物が表示されます。

※KIZ-run 作図画面の【基本設定】で仕口金物、継手金物を表示する設定としていない場合は表示されません。  
ご注意ください。

KIZUKURI【略伏図の入力】→【柱のプロパティ】にある（左右 上下）は、横架材の『継手金物』の位置を指定する場合の設定です。通し柱の場合には使用しません。

